

■ 関大版「三本の矢」！ 結束して大学戦国時代に立ち向かう！ ■ 学生・教員・職員による独自の SD 研修プログラムを実施

～ 三者協働でより良い教育・学習支援環境を考える ～

【日 時】 5月19日(金)～7月14日(金) 全5回 (隔週金曜) 15:30～17:00

【場 所】 千里山キャンパスおよび梅田キャンパス

このたび関西大学では、学生・教員・職員の三者協働でより良い教育・学習支援環境を考える、本学独自の SD (Staff Development) 研修プログラムを、5月19日(金)から5回にわたって千里山キャンパスおよび梅田キャンパスにて実施します。

2017年4月に大学設置基準が改正され、「大学は、当該大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識および技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けること」が義務化されました。また、本学の長期ビジョン『Kandai Vision 150』においても「主体的な学修を促す教育改革における学生参画の更なる推進」を政策目標に掲げており、学修支援に参画する学生の育成を重要課題として捉えています。

こうした背景の下、本学教育推進部・教育開発支援センターでは、教職員・学生連携による教育の質向上に向けた SD 研修プログラムを他大学に先駆けていち早く構築。同プログラムでは、三者協働でこれから取り組むべき課題を発見し、社会の変革に対応し、時代に即した教育を展開できる能力を育成することを目的としています。具体的には、教育推進部の教員が講師を務め、①カリキュラム、②教育方法、③教育評価、④ICT、⑤学修支援・学習環境の各テーマと大学教育を絡めた内容を、e-Learning システムによる事前学習や、グループワーク・振り返り等の対面学習を通じて深く学びます。また全プログラム終了後には、最終課題として教育・学習支援策を提案する発表会を予定しており、今後の教育研究活動および大学運営に貢献する実践的なプログラムとなっています。

これまで、大学設置基準改正前から本学を含む各大学等において SD 研修が実施されていますが、本プログラムのように、①学生・教員・職員三者協働で、②教育・学習支援環境の改善を主目的とし、③体系的な SD 研修は他に類を見ない取り組みです。本学では、今後も「学生支援」や「社会連携」をテーマにした同プログラムの実施を検討しており、継続的・積極的に SD に取り組んでいきます。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

記

【日時・テーマ】 <第1回>5月19日(金)「カリキュラムと大学教育」
<第2回>6月2日(金)「教育方法と大学教育」
<第3回>6月16日(金)「教育評価と大学教育」
<第4回>6月30日(金)「ICTと大学教育」
<第5回>7月14日(金)「学修支援・学習環境と大学教育」
<発表会>9月1日(金)「実現可能性の高い教育・学習支援策の提案」
※時間は各回とも15:30～17:00。内容等の詳細は別紙をご参照ください。

【場 所】 千里山キャンパス (第1回～第4回および発表会)、梅田キャンパス (第5回)

【受 講 者】 本学学生8名、教員3名、職員15名 計26名 (予定)

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 関西大学「学生・教員・職員三者協働型研修プログラム」内容詳細(各回の概要と目標)

<第1回>日 時：5月19日(金) 15:30~17:00 場 所：千里山キャンパス 第2学舎3号館 D301 教室

テーマ：カリキュラムと大学教育 講 師：森 朋子 教育推進部教授

- ①大学や各学部が学生に4年間でどのように育てほしいと考えているか、そのためにどのような授業科目や教育プログラムを用意しているかを説明できる。
- ②(教職員)教育の質保証のために、カリキュラムの効果的な運用を支援するために、学部あるいは個人がどのように工夫できるかを説明できる。
(学 生)学生が目的に合った履修をしやすくするためにカリキュラムが工夫されていることを説明できる。
- ③(教職員)各学部のカリキュラムが持つ特徴を活かすために、部署または個人で行える支援策を提案できる。
(学 生)科目間のつながりを理解し、それらを踏まえて履修相談に対応できる。

<第2回>日 時：6月2日(金) 15:30~17:00

場 所：千里山キャンパス 総合図書館ラーニング・コモンズ ワークショップ・エリア

テーマ：教育方法と大学教育 講 師：三浦 真琴 教育推進部教授

- ①授業を行う際の3要素(目標・内容・教育方法)の重要性について説明できる(わかる)。
- ②(職員)事務職員として、アクティブ・ラーニングの考え方を取り入れることで貢献できる業務上の工夫について説明できる。
(教員)学修成果の向上を目的として、アクティブ・ラーニングの考え方を取り入れた授業を設計できる。
(学生)これまでの授業や課外活動等の経験を振り返り、内容にアクティブ・ラーニングの考え方を取り入れることで、学習効果が見込める工夫について説明できる。

<第3回>日 時：6月16日(金) 15:30~17:00 場 所：千里山キャンパス 第4学舎1号館1階 協同学習室

テーマ：教育評価と大学教育 講 師：岩崎 千晶 教育推進部准教授

- ①授業設計における目標、教育方法、評価のバランスについて説明できる。
- ②教員・学生の立場から教育におけるルーブリック活用の効果と課題について説明できる。
- ③(職員)所属部署や関西大学においてルーブリックを活用した教育改善例を提案できる。
(教員)自分自身の授業や関西大学においてルーブリックを活用した教育改善例を提案できる。
(学生)主体的に学習するためにルーブリックを活用した学習改善例を提案できる。

<第4回>日 時：6月30日(金) 15:30~17:00 場 所：千里山キャンパス ITセンターサテライトステーション2

テーマ：ICTと大学教育 講 師：山本 敏幸 教育推進部教授

- ①大学教育におけるICT活用事例を挙げ、活用のメリットと課題を説明できる。
- ②ICT活用を促進するための環境や支援方法を説明できる。
- ③本学の教育・学習におけるICT活用の支援方法や環境の改善提案を行える。

<第5回>日 時：7月14日(金) 15:30~17:00 場 所：梅田キャンパス 6階 601 教室

テーマ：学修支援・学習環境と大学教育 講 師：岩崎 千晶 教育推進部准教授

- ①「なぜ、いま学習環境を見直す必要があるのか？」について説明できる。
- ②(教職員)コモンズでの自律的な学習を促進するための要素について3つ以上説明できる。
(学 生)本学における教育・学習支援の現状に照らし合わせ、課題を見出しその解決策を提案できる。
- ③本学をよくするため、部局間連携による相乗効果を図った実現可能性の高い学習環境や学習支援を1つ提案(デザイン)できる。

<発表会>日 時：9月1日(金) 15:30~17:00 場 所：千里山キャンパス 第2学舎2号館 C301 教室(予定)

最終課題として、5回のプログラムで学んだ内容から1つを取り上げ、関西大学をよりよくするための、実現可能性の高い教育・学習支援策を提案する。

◆教育推進部・教育開発支援センターについて

2008年10月、教学体制の改編に伴い教育推進部を設置。共通教養教育の推進、教学に関する諸問題についての全学的な調整、FD活動や学生の免許・資格取得支援、授業支援や教育開発の展開による学部や大学院の専門教育をサポート。教育開発支援センターはその傘下に設置された機関で、アクティブ・ラーニングの展開、学生の教育力を活用した学習・教育支援体制の整備、ICT活用授業の普及活動など、全学的な教育制度に関する企画立案や実践の研究を推進している。